

## 「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」

2019年度神戸大学全学キャリア科目（総合教養科目・副：総合科目Ⅱ）第3Q木曜5限  
教室 鶴甲第1キャンパス K202

（申請コード 後期 3U111（副：3U911））

### 【授業のテーマと目標】

テーマ「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」（社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義）

若い皆さんは、世の中の職業や仕事について具体的に知っている人も殆どいませんし、他方、自分自身がいかにか大きな可能性にみちているかを理解している人もごく稀です。しかし、皆さんのもつその測り知れない可能性を生かすためには、将来に広がる卒業後の多様な進路について思い巡らし、職業や仕事の具体的な姿とその仕事に就いている人々の経験と思いを知ることも大切です。

この授業では、様々な職業に就いている神戸大学の卒業生の方々から仕事の現場と遣り甲斐、さらに仕事への夢や志などを語っていただきます。皆さんはふだんの大学の授業では聞くことのできない社会人の先輩たちの話に耳を傾けながら、自分の将来の目標や職業に思いを馳せ、そのために今どんな基本的な能力や知識や教養を身につけるべきかを考えるキッカケにしてもらいたいと願っています。

また、こうした機会をもつことは、今大学で学んでいることの意味を知り、かけがえのない4年間の大学生活を充実させるためにもきわめて有益です。文系・理系の区別や職種を問わず、仕事をするうえでは共通の要素がありますし、どの分野であれ多様な職業について幅広い視野を得ることが必要ですが、そうしたこともこの授業から学びとってほしいと思います。

### 【授業の概要と計画】

★卒業生講師、☆専任教員（兼任）

#### ①10/3 「授業への導入」

☆南 知恵子 経営学研究科教授 キャリアセンター長（主担当教員）  
「キャリアに関する3つの「見方」：パズル、階段、旅」  
☆服部 泰宏 経営学研究科准教授

#### ②10/10 「学生時代にやっておいてよかったと思えるあれこれ、のお話」

★谷岡 久美 発達科学部人間行動表現学科 1997年卒 作曲・編曲家・ピアニスト

#### ③10/17 「やりたいことをやれ」

★松田 年史 神戸大学MBAプログラム（専門職大学院課程）2013年9月卒  
法政大学大学院 キャリアデザイン学研究科 2018年3月卒  
GCDF キャリアカウンセラー取得  
本田技研工業株式会社 ブランド・コミュニケーション本部  
ブランド部 プロモーション・デザイン課

#### ④10/24 「地域資源をつなぐソーシャル・イノベーション～公務員と副業～」

★佐々木 宏昌 法学部 1997年卒 兵庫県立大学大学院経営研究科 2018年修了（MBA取得）  
神戸市職員 神戸市職員有志神戸みらい学習室代表

#### ⑤10/31 「アホになれ」

★日下 慶太 法学部 2001年卒 電通関西支社 コピーライター・写真家・セルフ祭顧問

#### ⑥11/7 「伝えたい わが心の言葉」

★河内 鏡太郎 文学部 1966年卒  
武庫川女子大学教授・図書館長 元読売新聞専務、編集局長（大阪）

#### ⑦11/14 「相手のニーズを考えて応える」

★上野 理恵 農学部農芸化学科 1986年卒  
江崎グリコ株式会社 グリコお客様センター長

#### ⑧11/21 ふりかえり アウトプット・レポート（授業中記述）

## 【成績評価方法と基準】

課題提出物および授業最終日実施のアウトプット・レポートで総合的に判定します。2回欠席で放棄扱いとなります。毎回授業中に書くコミュニケーションシートと授業最終日実施のアウトプット・レポート提出(提出がない者は単位認定の対象としない)により総合評価します。この授業では、情報や知識の吸収だけではなく、気づきと成長への意欲を重視します。その他詳細については授業中に指示します。

## 【履修上の注意】

遅刻、途中入場・途中退室、履修者の無断欠席、私語、居眠りは厳禁。授業中携帯の電源は切ること。貴重な時間を割いてこの講義のために準備し遠路来てくださる先輩たちに失礼に当たりますので、以上のマナーを守る自信のない人およびアルバイト、部活、就活等で欠席しがちな人は履修を遠慮してください。毎回、授業の最後に授業の感想、意見、気づき、質問等を必ず書いてもらいますので、授業中は絶えず多くを考えたり感じたりしながら、各講師のお話に耳を傾けてください。この授業は毎回講師が異なることから、履修者に準備学習を求めています。準備学習としては、各講師の勤務先企業等についてホームページや図書などであらかじめ調べておいてください。また、復習としては、授業で聴いた用語やキーワード、あるいは人物等について調べ、それらを自分の言葉で説明できるようにしてください。

なお、この授業は1年次配当科目ですが、2、3回生や就職活動を終えてこれから社会に出ていく4(5)回生にもぜひ履修または聴講してもらいたいと願っています。卒業後のキャリア形成や人生設計を考えるうえで大きなヒントが得られるでしょう。また、院生は履修できませんが、聴講は歓迎します。なお総合科目Ⅱは、学部によっては卒業要件単位に入っていない場合があるかもしれません。自学部の学生便覧で確認してください。この授業の関連科目は、第4Q開講の総合教養科目「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」(木5限)です。

## 【オフィスアワーと研究室】

問い合わせや連絡は、南知恵子まで。相談または予約はメールでお願いします。メールアドレスは cminami[at]kobe-u.ac.jp または、キャリアセンター(A棟1F東)まで。

## 【学生へのメッセージ】

「真摯・自由・協同」(神戸大学のモットー)を実践し、「人間性豊かな指導的人材」(「神戸大学の使命」)をめざそう！ 自立と社会的関心、そして自己の成長を求める意欲があれば、あなたの未来への歩みは確かなものになります。「自立」とは、他人から命じられて初めて学ぶのではなく、自ら課題を見出して自分の意志で学ぶことができ、何をすればよいか指示を待つのではなく、自分から何をすべきかを考え、目標をもつことができることも意味します。いわば「自律」と不可分の「自立」です。自律には、自分の頭で考える力とそれを自分の言葉で話す力が必要です。自分で判断し自分で行動する姿勢を養ってください。それは、リーダーシップの涵養ということもできます。そのためには沢山のことを学ばなければなりません。とくに演習やゼミで「自ら学ぶ力」を養ってください。そして、「社会的関心」の反対は、自分のことしか関心がないこと。自分の利益しか考えない人は視野と世界が狭くなります。ましてや今はグローバル化への認識が必須の時代です。

社会的関心と社会貢献のサービスの姿勢があれば、何より視野が広がり、自分の能力や知識を何のためにどう行かせばよいか有効に考え、仕事の意味を理解し、多様性を受けとめながら人的ネットワークを豊かに形成し、仕事にいつそうやりがいと喜びを覚えるようになります。そのために今はあらゆるものに知的好奇心を抱き、学ぶことを楽しみましょう。本を読み幅広く教養を身につけるとともに、ぜひ新聞を読んでください。

## 【テキスト】

適宜プリント配付(教室に放置しないでください。余分に取ったものは元の場所に返却すること。)

## 【参考図書】

講師の方々から、キャリアを考える上でのおすすめの書籍をお伺いしています。総合・国際文化学図書館の特設ブースに置いてありますので参考にしてください。

## 「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」

2019年度神戸大学全学キャリア科目（総合教養科目・副：総合科目Ⅱ）第4Q木曜5限  
教室 鶴甲第1キャンパス K202

（申請コード 後期 4U111（副：4U907））

### 【授業のテーマと目標】

テーマ「職業と学び—キャリアデザインを考えるB」（社会で活躍する神戸大卒業生によるリレー講義）

若い皆さんは、世の中の職業や仕事について具体的に知っている人も殆どいませんし、他方、自分自身がいかにか大きな可能性にみちているかを理解している人もごく稀です。しかし、皆さんのもつその測り知れない可能性を生かすためには、将来に拓がる卒業後の多様な進路について思い巡らし、職業や仕事の具体的な姿とその仕事に就いている人々の経験と思いを知ることが大切です。

この授業では、様々な職業に就いている神戸大学の卒業生の方々から仕事の現場と遣り甲斐、さらに仕事への夢や志などを語っていただきます。皆さんはふだんの大学の授業では聞くことのできない社会人の先輩たちの話に耳を傾けながら、自分の将来の目標や職業に思いを馳せ、そのために今どんな基本的な能力や知識や教養を身につけるべきかを考えるキッカケにしてもらいたいと願っています。

また、こうした機会をもつことは、今大学で学んでいることの意味を知り、かけがえのない4年間の大学生活を充実させるためにもきわめて有益です。文系・理系の区別や職種を問わず、仕事をするうえでは共通の要素がありますし、どの分野であれ多様な職業について幅広い視野を得ることが必要ですが、そうしたこともこの授業から学びとってほしいと思います。

### 【授業の概要と計画】

★卒業生講師、☆専任教員（兼任）

#### ①12/5 「授業への導入」

☆南 知恵子 経営学研究科教授 キャリアセンター長（主担当教員）

「キャリアの考え方」

☆鈴木 竜太 経営学研究科教授

#### ②12/12 「人生に無駄なことはない」

★福田 和代 工学部 1990年卒 ミステリー作家 2009年まで金融機関のシステム開発者  
2019年より(株)デジタル・ケイブ代表取締役

#### ③12/19 「プロジェクトマネージャの仕事 ～大型プロジェクトを「料理」する鉄人たち～

★森岡 祥一 神戸大学 MBA プログラム(専門職大学院課程)2013年9月修了

川崎重工業株式会社 車両カンパニー 北米プロジェクト本部 プロジェクトダイレクター

#### ④12/26 「仕事はお役立ち」

★佐藤 栄哲 経営学部 1993年卒 (株)ミナジン 代表取締役社長

#### ⑤1/9 「日本人から、地球人へ」

★木島 英登 発達科学部人間環境科学科 1997年卒 木島英登バリアフリー研究所 代表  
NPO 法人 Japan Accessible Tourism Center 代表

#### ⑥1/16 「人と地域をつなぐ 地方紙のチカラ」

★村上 早百合 神戸大学経済学部 1984年卒 神戸大学経済学研究科(社会人コース)2001年修了  
キャリアコンサルタント(国家資格)2019年取得 神戸新聞社姫路本社代表

#### ⑦1/23 「都市開発の仕事 様々な出会いからの学び」

★小林 大介 神戸大学経済学部 1995年卒

神戸大学 MBA プログラム(専門職大学院課程)2005年卒 近畿日本鉄道株式会社 (1995～2007)

三菱商事株式会社 中部支社 電力・インフラ・都市開発事業部

複合都市開発チーム チームリーダー

#### ⑧2/7 ふりかえり アウトプット・レポート (授業中記述)

### 【成績評価方法と基準】

課題提出物および授業最終日実施のアウトプット・レポートで総合的に判定します。2回欠席で放棄扱いとなります。毎回のBEEFでの事後課題提出による出席確認と授業最終日実施のアウトプット・レポート提出(提出がない者は単位認定の対象としない)により総合評価します。この授業では、情報や知識の吸収だけではなく、気づきと成長への意欲を重視します。その他詳細については授業中に指示します。

### 【履修上の注意】

遅刻、途中入場・途中退室、履修者の無断欠席、私語、居眠りは厳禁。授業中携帯の電源は切ること。貴重な時間を割いてこの講義のために準備し遠路来てくださる先輩たちに失礼に当たりますので、以上のマナーを守る自信のない人およびアルバイト、部活、就活等で欠席しがちな人は履修を遠慮してください。毎回、事後課題を必ず提出してもらいますので、授業中は絶えず多くを考えたり感じたりしながら、各講師のお話に耳を傾けてください。この授業は毎回講師が異なることから、履修者に準備学習を求めています。準備学習としては、各講師の勤務先企業等についてホームページや図書などであらかじめ調べておいてください。また、復習としては、事後課題と併せて、授業で聴いた用語やキーワード、あるいは人物等について調べ、それらを自分の言葉で説明できるようにしてください。

なお、この授業は1年次配当科目ですが、2、3回生や就職活動を終えてこれから社会に出ていく4（5）回生にもぜひ履修または聴講してもらいたいと願っています。卒業後のキャリア形成や人生設計を考えるうえで大きなヒントが得られるでしょう。また、院生は履修できませんが、聴講は歓迎します。なお総合科目Ⅱは、学部によっては卒業要件単位に入っていない場合があるかもしれません。自学部の学生便覧で確認してください。この授業の関連科目は、第3Q開講の総合教養科目「職業と学び—キャリアデザインを考えるA」（木5限）です。

### 【オフィスアワーと研究室】

問い合わせや連絡は、南知恵子まで。相談または予約はメールでお願いします。メールアドレスは cminami[at]kobe-u.ac.jp または、キャリアセンター（A棟1F東）まで。

### 【学生へのメッセージ】

「真摯・自由・協同」（神戸大学のモットー）を実践し、「人間性豊かな指導的人材」（「神戸大学の使命」）をめざそう！ 自立と社会的関心、そして自己の成長を求める意欲があれば、あなたの未来への歩みは確かなものになります。「自立」とは、他人から命じられて初めて学ぶのではなく、自ら課題を見出して自分の意志で学ぶことができ、何をすればよいか指示を待つのではなく、自分から何をすべきかを考え、目標をもつことができることも意味します。いわば「自律」と不可分の「自立」です。自律には、自分の頭で考える力とそれを自分の言葉で話す力が必要です。自分で判断し自分で行動する姿勢を養ってください。それは、リーダーシップの涵養ということもできます。そのためには沢山のことを学ばなければなりません。とくに演習やゼミで「自ら学ぶ力」を養ってください。そして、「社会的関心」の反対は、自分のことしか関心がないこと。自分の利益しか考えない人は視野と世界が狭くなります。ましてや今はグローバル化への認識が必須の時代です。

社会的関心と社会貢献のサービスの姿勢があれば、何より視野が広がり、自分の能力や知識を何のためにどう行かせばよいか有効に考え、仕事の意味を理解し、多様性を受けとめながら人的ネットワークを豊かに形成し、仕事にいつそうやりがいと喜びを覚えるようになります。そのために今はあらゆるものに知的好奇心を抱き、学ぶことを楽しみましょう。本を読み幅広く教養を身につけるとともに、ぜひ新聞を読んでください。

### 【テキスト】

適宜プリント配付（教室に放置しないでください。余分に取ったものは元の場所に返却すること。）

### 【参考図書】

講師の方々から、キャリアを考える上でのおすすめの書籍をお伺いしています。総合・国際文化学図書館の特設ブースに置いてありますので参考にしてください。